【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公開番号】特開2010-16651(P2010-16651A)
【公開日】平成22年1月21日(2010.1.21)
【年通号数】公開・登録公報2010-003
【出願番号】特願2008-174958(P2008-174958)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/91　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ａ
Ｈ０４Ｎ　5/91　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成23年6月30日(2011.6.30)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
撮像手段と、
前記撮像手段により得られた動画信号から静止画として抽出すべきフレームを所定の間隔で指定し、前記指定したフレームの静止画信号を生成する静止画生成手段と、
前記静止画生成手段により生成された複数の前記静止画信号を記憶するメモリと、
前記動画信号の撮影開始後、前記メモリに記憶された前記静止画信号が所定数に達したことに応じて、前記メモリに記憶されている前記所定数の静止画信号から、前記メモリに記憶された順に１フレームおきの間隔で一部の前記静止画信号を削除する制御手段と、
を有することを特徴とする撮像装置。
【請求項２】
前記制御手段は、前記動画信号の撮影開始後、前記メモリに記憶された前記静止画信号が前記所定数に達したことに応じて、前記間隔を長くすることを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項３】
前記制御手段は、前記動画信号の撮影開始後、前記メモリに記憶された前記静止画信号が前記所定数に達する毎に、前記所定数に達した時点で前記メモリに記憶されている前記所定数の静止画信号から、前記メモリに記憶された順に１フレームおきに一部の前記静止画信号を削除することを特徴とする請求項１に記載の撮像装置。
【請求項４】
動画撮影が可能な撮像装置の制御方法であって、
撮像手段により得られた動画信号から静止画として抽出すべきフレームを所定の間隔で指定し、前記指定したフレームの静止画信号を生成する静止画生成工程と、
前記静止画生成工程で生成された複数の前記静止画信号をメモリに記憶する記憶工程と、
前記動画信号の撮影開始後、前記メモリに記憶された前記静止画信号が所定数に達したことに応じて、前記メモリに記憶されている前記所定数の静止画信号から、前記メモリに記憶された順に１フレームおきの間隔で一部の前記静止画信号を削除する制御工程と、

を有することを特徴とする撮像装置の制御方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
本願発明の一態様に係る撮像装置及びその制御方法よれば、動画像が撮影可能な撮像装置において、動画撮影時間の長短に関係なく、生成される静止画信号の数が所定値を超えないようにメモリに記録する数を制御できる。このため、メモリを圧迫することなく、処理時間にばらつきが生じることもない。従って、処理動作が早く、且つ安定した撮像装置が実現できる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
上記目的を達成するために本発明の一態様に係る撮像装置は以下のような構成を備える。即ち、
撮像手段と、
前記撮像手段により得られた動画信号から静止画として抽出すべきフレームを所定の間隔で指定し、前記指定したフレームの静止画信号を生成する静止画生成手段と、
前記静止画生成手段により生成された複数の前記静止画信号を記憶するメモリと、
前記動画信号の撮影開始後、前記メモリに記憶された前記静止画信号が所定数に達したことに応じて、前記メモリに記憶されている前記所定数の静止画信号から、前記メモリに記憶された順に１フレームおきの間隔で一部の前記静止画信号を削除する制御手段と、を有することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
上記目的を達成するために本発明の一態様に係る撮像装置の制御方法は以下のような工程を備える。即ち、
動画撮影が可能な撮像装置の制御方法であって、
撮像手段により得られた動画信号から静止画として抽出すべきフレームを所定の間隔で指定し、前記指定したフレームの静止画信号を生成する静止画生成工程と、
前記静止画生成工程で生成された複数の前記静止画信号をメモリに記憶する記憶工程と、
前記動画信号の撮影開始後、前記メモリに記憶された前記静止画信号が所定数に達したことに応じて、前記メモリに記憶されている前記所定数の静止画信号から、前記メモリに記憶された順に１フレームおきの間隔で一部の前記静止画信号を削除する制御工程と、を有することを特徴とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】

【００１０】
本発明によれば、静止画信号がメモリの容量に占める割合を一定量に抑えることができるため、撮像装置における機能低下を招く心配がないという効果がある。
【手続補正６】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】削除
【補正の内容】